（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスフューチャー　（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和8年　2月　1日	～	令和8年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	18	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	令和8年　2月　1日	～	令和8年　2月　28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　3月　23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことをよく理解している。 個々にあった対応を心がけている。	それぞれ違う特性を持つ子どもたちがいるため、部屋を分けて利用している。	得意なことはどんどん伸ばし、苦手な事も少しづつ克服できる支援を心がけていく。
2	気軽に不安や子育ての悩みをそうだんできる。 子どもだけでなく、保護者の気持ちにも寄り添っている。	気軽に声をかけれる体制をいつも作っている。	一部の人だけではなく、利用者・保護者みんなが相談できる場を作る。
3	室内が清潔で、明るい。	掃除や消毒を日々徹底して行っている。 季節の壁面飾りを施し、子どもが入りやすい部屋づくりを心がけている。	子どもたちにも壁面飾りなど、企画から加わってもらうようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備がふるい。 階段が急で危ない。	階段が急であったり、ドアや扉が古く危険	工事費用等かさむので、工事できるまでは、階段利用時やドアの開閉は必ず支援員が付き添うようにする。
2	職員の高齢化	SNSやパソコンの業務になかなかなれない。	職員を増やす。 若い職員が入りやすい環境づくりをする。
3			